



高校野球のマナーとルールを学ぼう (第90回)



一般財団法人兵庫県高等学校野球連盟

グラウンドでの試合を振り返り、高校野球の大切なマナーとルールを学びましょう。
あなたの「なぜ? どうして?」にわかりやすくお答えします。

ルール編 フォースプレイとは・・・

(ケース1)

無死1、2塁で、打球は2塁手正面への低いライナーが飛び、2塁手はショートバウンドした打球を捕球し、すかさず2塁へ送球。2塁手からの送球を捕球した遊撃手(ピボットマン)は、2塁に触塁した後、1塁へ送球し、4-6-3のダブルプレイを成立させました。

このとき、1塁、2塁の走者は、打球が2塁手にノーバウンドで捕球されると考え、それぞれの塁に帰塁していました。したがって、残った走者は2死2塁となりました。

ここで、ちょっと待ってください?・・・ 2塁走者が塁に帰塁していたのであれば、トリプルプレイにできなかったのでしょうか。では、どのようにすればトリプルプレイにできたのでしょうか。

公認野球規則の定義30では、**打者が走者となったために、塁上の走者が、規則によって、その塁の占有権を失ったことが原因となって生じるプレイのことを「フォースプレイ」と定めています。**

上記のケースでは、地面にバウンドした打球を2塁手が捕球していますので、打者は打者走者となり、押し出された

1、2塁走者は、それぞれ次の塁へ進む必要が生じていることから、フォースの状態であることが分かります。

では、この場合、トリプルプレイを成立させるには、どのようにすれば良かったのでしょうか。フォースプレイに関わるルールと照らし合わせながら、考えてみましょう。

規則5.09(b)(6)によると、「打者が走者となったために、進塁の義務が生じた走者が次の塁に触れる前に、野手はその走者またはその塁に触球した場合」は、「フォースアウト」になると定められています。

したがって、2塁走者が、次塁である3塁へ触れる前に、遊撃手が2塁走者に触球(タッグ)するか、3塁に送球して3塁手が塁に触球することにより、2塁走者もアウトにすることができたこととなります。

ただ、もし3塁へ送球していれば、その間に打者走者や1塁走者が次塁へ進むことになるので、時間的な側面を考えるとトリプルプレイを成立させることは困難ですが、2塁にとどまっていた2塁走者に触球(タッグ)した上で、そのまま2塁ベースに触塁し、1塁へ転送していればトリプルプレイが成立していたのではないのでしょうか。

もちろん、どの塁においても、走者が次塁へ到達する前に、野手がボールを保持して触球または触塁をすることが前提になります。



(ケース2) ※フォースプレイは、次のような場面でもよく起こります。

無死1塁、打者は、送りバントを試み、打球は投手前の小飛球になりました。1塁走者は、投手がダイレクトで打球を捕球すると考え、1塁ベースに帰塁していましたが、投手はダブルプレイを企図し、ワンバウンドで捕球した後、1塁へ送球。送球を捕球した1塁手は、1塁走者に触球（タッグ）し、次に1塁ベースを踏む（触塁）ことでダブルプレイを成立させました。

もし、1塁手が1塁走者に触球（タッグ）する前に、1塁ベースに触塁した場合は、その後、ベース上の1塁走者に触球（タッグ）したとしても、後位の打者走者がすでにフォースアウトになっていますので、フォースの状態ではなくなり、前位の1塁走者には進塁する義務がなくなっていますので、アウトにならないこととなります。

このように、文面上でとルールと照らし合わせながら考えてみると、フォースプレイについて理解できますが、実際の試合では、これら一連の流れが瞬時に起こるため、選手のみならず、プレイに携わる審判委員も触球・触塁のどちらが先であったかなど、しっかりと見極める必要があるでしょう。

一方、フォースの状態では、インフライトで打球を捕球するか否か、触球（タッグ）や触塁など守備側のプレイの選択一つで、意図的にダブルプレイを成立させることが可能になります。

公認野球規則では、守備側の意図的なダブルプレイを防ぐ目的から、①インフィールドフライ（定義 40.5.09(a)(5)）、や②故意落球（5.09(a)(12)）を定め、直ちに打者をアウトすることにより、**塁上の走者に進塁する義務をなくす措置**を講じています。その例を次に見てみましょう。

(ケース3)

無死または1死の場面、捕手が投球を捕球後に落球したり、地面に触れた投球を捕球するなど、第3ストライクを捕手が正規に捕球しなかった場合。

1塁に走者がいるときは、打者を直ちにアウトにすることで1塁走者に進塁の義務をなくす規定を設けています。(5.09(a)(3)) つまり、捕手が故意に投球を落球したり、バウンドさせた投球を捕球するなどして、**意図的にダブルプレイを図る行為をルール上で防止**している訳ですね。

「フォースプレイ」は、野球という競技をする中で頻繁に起こりうる基本的なプレイの1つですが、ルールの適用においては、意外と理解されていないことが多いようです。

このような機会に、基本的なプレイを見つめ直すのもいいかもしれませんね。

イラスト協力: 兵庫県立姫路工業高等学校デザイン科
播磨 陽香 さん (3年)